

2020年度 東北大学金属材料研究所

中性子物質材料研究センター共同利用研究募集要項 (案)

1. 募集要項

東北大学金属材料研究所 中性子物質材料研究センター (以下「当センター」と略記) は、中性子利用研究を推進するための当センターとの共同利用研究、および、大強度陽子加速器施設 (J-PARC) の物質・生命科学実験施設 (MLF) において、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) と東北大学金属材料研究所が協力して運営する中性子分光器 (POLANO) を用いた共同利用研究を募集します。

2. 申請資格者

- (1) 本共同研究には国・公・私立大学および高等専門学校教員ならびに国立研究開発法人・国公立の研究機関に属する常勤の研究者、または当センター長が認めた研究者のいずれかに該当する者が研究代表者として申請できます。
- (2) 研究組織の中に分担者として教職員、大学院生ならびに学部生 (高等専門学校にあたっては専攻学科生、指導教員が明確なこと) を含めることができます。

3. 申請方法

- (1) 東北大学金属材料研究所共同利用webシステム (<http://www-lab.imr.tohoku.ac.jp/~util/>) よりお申し込み下さい。
- (2) 申請書等の締切は下記ようになります。

①申請期限については **GIMRT web** サイトおよび **GIMRT** 募集要項をご覧ください。(本研究所 web システムから電子申請)

その他の締めきりは2月、5月、8月末を予定しています。

共同研究承諾書(別紙) 提出期限 来所3週間前までに、所属長印を押印したものを郵送または持参にて提出。分担者等で来所しないために、共同研究承諾書が未提出であっても、共同利用の規定等を遵守することを認めたものと見なします。

(3) 留意事項

- ① 申請書には、当センターとの共同研究を必要とする理由、および、POLANOで実施する実験内容の記入が必要です。後者の一部は、MLFの課題申請書のコピーで代替することが可能です。詳しくは電子申請システム内の申請書内容をご確認下さい。
- ② web申請システムの整備状況により、申請方法が書面申請等に変更する可能性がありますので、予めご了承ください。
- ③ 緊急課題は、随時受け付けますが、事前にご相談下さい。
- ④ 中性子利用研究を推進するための当センターとの共同利用研究とは、中性子ビームを用いないで行う中性子利用手法研究、解析手法の研究等を当センターとの共同研究として行う課題です。

4. 研究期間

研究期間は、原則2020年4月1日から2021年3月末日まで、もしくは採択から1年間。

5. 共同研究承諾書提出先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

東北大学金属材料研究所 総務課 研究協力係

電話 022-215-2183
ファクシミリ 022-215-2184
E-mail imrkyodo@imr.tohoku.ac.jp

6. 採否

当センターの採択専門委員会及び共同利用・共同研究委員会等の議を経て決定し、審査結果は、締めきり後2ヶ月を目処に申請者に直接通知します。

なお、採択にあたっては、当センターの設置目的に合致し、当センターで対応出来る研究内容の課題を優先する方針で、上記委員会により審査し、採否を決定いたします。

7. 支援の範囲

中性子利用研究を推進する目的で当センターとの共同研究を希望される方に、実験および解析等の支援を行います。MLFの一般課題申請等で、POLANOのマシントimeを独自に確保した課題に加え、中性子ビームを用いないで行う技術開発研究、解析手法研究等を当センターとの共同研究として行う課題が支援対象です。また、予算の範囲内で、本研究所から旅費が支給されます。

8. 共同研究報告書

採択課題の研究代表者は、2021年4月9日(金)あるいは採択後1年3ヶ月までに「共同利用研究報告書」を本研究所webシステムにて提出してください。[提出期限厳守のこと。]

事情により報告書が期限までに提出できない場合は、別途定める書式にて理由書や経過報告書を提出頂きますので、ご連絡ください。

9. 論文の提出

本共同利用研究で得られた成果は、基本的に3年を目処に論文として発表し、本センターへの謝辞を記載してください。その場合は、「東北大学金属材料研究所中性子物質材料研究センター(英語名: Center of Neutron Science for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University)」における共同利用研究である旨の文章を入れて下さい。

英文の場合の参考として、文例を以下に示します。

- 1) This work was performed under the inter-university cooperative research program (Proposal No. **G***) of the Center of Neutron Science for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University.
- 2) This work is a cooperative program (Proposal No. **G***) of the Center of Neutron Science for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University.

※なお、論文を発表したときは、別冊1部を中性子物質材料研究センターあてに提出してください。

10. 知的財産権の取扱

東北大学共同研究取扱規程を準用します。

11. その他の留意事項

- 1) 英語による申請も可能です。
- 2) POLANOは、原子スケールの動的特性を調査できる中性子分光器です。本装置は、茨城県東海村のMLFに設置されており、課題の実施は当該実験施設において行います。装置性能については事前に問い合わせ下さい。
- 3) POLANOの利用には関しては、MLFのルールに従って下さい。